

景観形成基準適合チェックリスト

【歴史と文化の道地区】「建築物・工作物」

項目	景観形成基準	申請者ご自身でご記入いただく欄	
		チェック内容 (各欄ごとにいずれか一つの□にレが入らなければ「適合」となりません)	適・不適
高さ	・周辺のまちなみから突出しない高さとなるように配慮する。	<input type="checkbox"/> 隣接する建物と高さを揃える <input type="checkbox"/> 隣接する建物と緩やかに高さを変化させる <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・背景となる山並みの稜線や斜面緑地帯を分断しない高さとする。	<input type="checkbox"/> 国・県道、都市計画道路、公園から見て背景となる山並みや斜面緑地はない <input type="checkbox"/> 国・県道、都市計画道路、公園から見て山並みや斜面緑地の稜線を分断しない ※分断しないことが確認できる写真を添付し、付近見取図等に撮影位置と撮影方向を明示してください。	
	・城山展望台など市が指定した視点場からの眺望確保範囲においては、建築物等の高さは基準線を超えないものとする。	【必須】 計画地の建物の高さの限度 (標高 m) 【必須】 計画している建物の高さ (標高 m)	※眺望確保範囲外の場合は、記入不要
	・桜島や錦江湾上から見える地域においては、市街地への眺望や斜面緑地を阻害、分断しない高さとする。	<input type="checkbox"/> 桜島フェリー航路から見て山並みや斜面緑地の稜線を分断しない	
形態・意匠	・周辺の歴史的及び文化的景観と調和し、まとまりのある形態・意匠、素材とする。	<input type="checkbox"/> 周辺とつながりを持たせるために素材・色彩などに配慮する ◇木材や石材等の自然素材を使用する <input type="checkbox"/> 壁面のデザインを周辺の建物のデザインと違和感のないものにする ◇全体的に和風とする ◇木材や石材等の自然素材を採用する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・経年変化による味わいや美しさが感じられる、木材や石材等の自然素材などの採用に努める。	<input type="checkbox"/> 自然素材を採用する (具体的な内容: <input type="checkbox"/> 自然素材ではないが自然素材に見えるような材料を使用する (具体的な内容: <input type="checkbox"/> 周辺と調和した素材を使用する (具体的な内容: <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・文化財等の周辺では、その存在を阻害しないような形態・意匠とし、また調和する素材を採用する。	<input type="checkbox"/> 存在を阻害しないような形態・意匠とする ◇形態・意匠を合わせる <input type="checkbox"/> 周辺と調和した素材を使用する ◇木材や石材等の自然素材を使用する <input type="checkbox"/> 周辺に文化財等はない <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・降灰対策を講じること。	<input type="checkbox"/> 灰が溜まりにくい構造とする ◇急勾配の屋根にする ◇樋の形状を工夫する ◇側溝を計画する ◇外壁の素材を工夫する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
壁面	・道路に接する壁面は、道路境界からの後退や接道部への植栽等により、ゆとりのある空間の創出に努め、分節の度合いを工夫することにより圧迫感・威圧感を与えないように配慮する。	<input type="checkbox"/> 道路と壁面の間にゆとりのある空間をつくる ◇木や自然石による塀等を設置 ◇接道部分に植栽を行う <input type="checkbox"/> 道路に面する壁面に変化をつけ、圧迫感・威圧感を軽減する ◇壁面の一部をセットバック ◇ルーバー等を設置 ◇分棟する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・建築物の連続性に配慮するとともに、出来るだけ壁面後退等によりオープンスペースを設け、安心・安全で魅力ある歩行空間の創出に配慮する。	<input type="checkbox"/> 隣接する建物と壁面線をそろえる <input type="checkbox"/> 壁面後退によりオープンスペースを設ける (具体的な内容: <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・景観上主要な道路からの見え方を意識して、沿道のまちなみと調和した形態・意匠となるよう外壁のデザインを工夫する。	<input type="checkbox"/> 壁面のデザインを沿道のまちなみと調和したものにする ◇全体的に和風で統一感のあるデザインにする <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・太陽光発電設備等を外壁に設置する場合は、その他の外壁と調和したものとする。	<input type="checkbox"/> 太陽光発電設備等を設置しない <input type="checkbox"/> 周辺の外壁の色彩に調和したものとする <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(

景観形成基準適合チェックリスト

【歴史と文化の道地区】「建築物・工作物」

項目	景観形成基準	申請者ご自身でご記入いただく欄	適・不適
		チェック内容 (各欄ごとにいずれか一つの□にレが入らなければ「適合」となりません)	
屋外設備	・屋外階段は、建築物本体と調和を図るよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 屋外階段を設置しない <input type="checkbox"/> 屋外階段は道路など公共の場から見えない位置に設置する <input type="checkbox"/> 建築物本体と調和させる(一体的にデザイン 同系統の色彩 同系統のルーバーやそで壁等による遮へい) <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・屋上等に各種設備を設ける場合は、鹿児島市景観計画に定める城山展望台の視点場からの眺望の支障とならないよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 城山展望台の視点場からの眺望の支障とならない ※城山展望台からの写真を添付する。	
	・太陽光発電設備や風力発電設備を屋根及び屋上に設置する場合は、突出した形態とならないように、また周囲の景観を阻害しないように配慮する。	<input type="checkbox"/> 太陽光発電設備や風力発電設備等を設置しない <input type="checkbox"/> 周囲の景観を素材しない ◇(植栽 ルーバー その他)で覆う <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・配管やダクト等は、道路など公共の場から見える壁面に露出しないよう配慮する。やむを得ず露出する場合は、壁面と同一の色調とするなど目立たないようにする。	<input type="checkbox"/> 配管やダクト、樋、雨水縦管等は、すべて道路など公共の場所から見える壁面に露出しないように設置する <input type="checkbox"/> 露出する場合は(植栽 ルーバー その他)で覆う <input type="checkbox"/> 覆わない場合は配管やダクト、樋、雨水縦管等を次のとおりにする ◇壁面と同一の色彩にする ◇建物本体のデザインに取り込む ◇壁面と同じ色相の系統で彩度の低い色彩にする <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・室外機や高架水槽等の建築設備は、道路など公共の場から見えない位置に設置する。やむを得ず設置する場合は、建築物と調和の取れた素材で覆うか、調和の取れた色調とするなど、目立たないように配慮する。	<input type="checkbox"/> 建築設備を屋外に設置しない <input type="checkbox"/> 建築設備をすべて道路など公共の場所から見えない位置に設置する <input type="checkbox"/> 建築設備の色彩を建物と調和した色彩とする <input type="checkbox"/> 建築設備が公共の場から見えないように(自然素材の柵等の設置 緑化 その他)を行う <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
色彩【建築物】	・屋根・外壁はマンセル値の彩度2以下の低彩度のものとし、外壁については茶・ベージュ系の落ち着いた色彩等を基調とし、歴史・文化を象徴するまちなみ景観の継承に配慮する。	【必須】外壁面の鉛直投影面積の1/10を超える部分の色彩 (色相____、彩度____) (色相____、彩度____) (色相____、彩度____) ◇茶・ベージュ系 ◇その他(
色彩【工作物】	・マンセル値の彩度2以下の低彩度のものとする。	【必須】 (色相____、彩度____) (色相____、彩度____) (色相____、彩度____)	
	・落ち着いた色彩の採用に努める。	<input type="checkbox"/> 茶・ベージュ系 <input type="checkbox"/> その他(
	・外観に使用する素材及び材料は、周囲の景観との調和に配慮し、光沢のあるものや反射光の生じるものをできる限り使用しないように努める。	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和した素材・材料とする ◇木材や石材等の自然素材を使用する <input type="checkbox"/> 光沢のあるものや反射光の生じるものを使用しない <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(

景観形成基準適合チェックリスト

【歴史と文化の道地区】「建築物・工作物」

項目	景観形成基準	申請者ご自身でご記入いただく欄	
		チェック内容 (各欄ごとにいずれか一つの□にレが入らなければ「適合」となりません)	適・不適
外構	・駐車場・駐輪場等は、公共の場からできる限り見えないように設置する。やむを得ず設置する場合は、建築物と同様の形態・意匠・自然素材による遮へいや周囲の緑化による修景、路面の素材を工夫する等配慮を図る。	敷地に設置するもの(ア 駐車場 イ 駐輪場 ウ その他) ※駐車場等を設置する場合は、設置するもの全てが以下のいずれかに該当する必要があります <input type="checkbox"/> 公共の場から見えない位置に設置する <input type="checkbox"/> 周辺の自然環境等と調和するよう工夫する ◇建築物と同様の形態・意匠を採用する(具体的な内容: ◇自然素材による(植栽 木塀 門扉 その他_____)を設置し、遮へいする(対象_____) ◇周辺に緑化による修景を行う ◇路面素材を工夫する(対象_____) (具体的な内容: ◇その他(対象_____)(具体的な内容:	
	・ごみ集積所は、建築物と同様の形態・意匠の採用や、自然素材や植栽等による遮へいに努める。	<input type="checkbox"/> ごみ集積所は設置しない <input type="checkbox"/> 建築物と同様の形態・意匠を採用する ◇同じ素材を使用する ◇同じ色彩にする <input type="checkbox"/> ごみが道路など公共の場から見えないように(植栽 木塀 扉 その他_____)を設置する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・門、石垣等でまちなみを特徴づけている意匠を有するものは、安全性に配慮した上で可能な限り保存や活用を図る。	<input type="checkbox"/> 門、石垣等まちなみを特徴づけているものは現存しない <input type="checkbox"/> 現存する石垣等の保全・活用を図る ◇現状のまま保全する ◇安全上必要な補修等を行い保全する(具体的な内容: ◇その他(具体的な内容:	
	・新たに通りに面して塀等を設ける場合は、生垣や石垣等とするなど、歴史的な趣の残るまちなみとの調和を図る。	<input type="checkbox"/> 新たに塀や柵等を設置しない <input type="checkbox"/> 塀や柵等は(生垣 石垣 その他_____)とする <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
・ 附属建築物 ・ 工作物	・道路など公共の場から見える場合は、母屋と調和したものとする。	<input type="checkbox"/> 附属建築物はない <input type="checkbox"/> 道路など公共の場から見えない位置に設置する <input type="checkbox"/> 塀や門扉により遮へいする <input type="checkbox"/> 母屋と調和したものとする(具体的な内容: <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・敷地内に自動販売機等を設置する場合は、道路からの見え方に配慮し、建築物と一体化させるような配置や色彩を合わせるなど適切な修景を行う。	<input type="checkbox"/> 自動販売機等は設置しない <input type="checkbox"/> 道路など公共の場から見えない位置に設置する <input type="checkbox"/> 塀や門扉により遮へいする <input type="checkbox"/> 自動販売機等を建築物と調和した配置や色彩とする ◇連続的に配置する ◇同じ色彩にする <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・バルコニーの手すり壁に透明ガラスを使用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等が見えないように工夫する。	<input type="checkbox"/> 道路など公共の場から洗濯物や室外機等が見えないよう工夫する ◇木製のルーバーを使用する ◇すりガラスを使用する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・屋外階段は、道路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するように努める。	<input type="checkbox"/> 屋上階段は設置しない <input type="checkbox"/> 道路など公共の場から見えない位置に設置する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・太陽光発電設備や風力発電設備等の色彩は、黒色又は濃紺色もしくは低彩度・低明度の目立たないものとし、模様が目立たず、光沢のないものとする。	<input type="checkbox"/> 太陽光発電設備や風力発電設備等は設置しない <input type="checkbox"/> 色彩は以下のものとする ◇黒色 ◇濃紺色 ◇低彩度・低明度(彩度_____, 明度_____) <input type="checkbox"/> 模様が目立たず、光沢がない <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・携帯電話の基地局アンテナ等は、通りや隣接する公園等の公共空間から見えない位置で、景観上影響の少ない位置に設置するよう努める。	<input type="checkbox"/> 基地局アンテナ等は設置しない <input type="checkbox"/> 道路など公共の場から見えない位置に設置する <input type="checkbox"/> 景観上影響の少ない位置に設置する ◇周辺に文化財等の景観資源はない <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(

景観形成基準適合チェックリスト

【歴史と文化の道地区】「建築物・工作物」

項目	景観形成基準	申請者ご自身でご記入いただく欄	適・不適
		チェック内容（各欄ごとにいずれか一つの□にレが入らなければ「適合」となりません）	
緑化	・公共の場から見える場所、特に道路など公共の場に接する場所ではできる限り緑化に努める。	<input type="checkbox"/> 道路など公共の場から見える敷地内に花や緑を植える <input type="checkbox"/> その他配慮した内容（	
	・城山からの見え方に配慮し、陸屋根の場合は屋上緑化に努める。	<input type="checkbox"/> 陸屋根ではない <input type="checkbox"/> 屋上緑化を行う <input type="checkbox"/> その他配慮した内容（	
	・既存の樹木等ではできる限り保全・活用に努める。	<input type="checkbox"/> 既存の樹木等はない <input type="checkbox"/> 既存の樹木等を維持・保全する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容（	
	・道路等の境界部分には、周辺の景観との調和に配慮し、生垣や石垣等を活かした樹木等による緑化に努める。	<input type="checkbox"/> 生垣や石垣等を活かした緑化に努める（具体的な樹木名： <input type="checkbox"/> その他配慮した内容（	
夜間の特定照明	・周辺住民の生活環境への影響を考慮し、また歴史景観に配慮したものとする。	<input type="checkbox"/> 隣接地または前面道路の反対側に住居系建築物がある場合は、その方向に面した壁面全面への特定照明、点滅する照明、動きのある照明をしない <input type="checkbox"/> その他配慮した内容（	
	・法令等に基づいて設置されるものを除き、回転灯やサーチライト等の光の量が多く、動きのあるものはできる限り使用しない。	<input type="checkbox"/> 回転灯、サーチライト等の光の量が多く、動きのあるものを使用しない <input type="checkbox"/> その他配慮した内容（	
	・夜間広告は自発光型看板を極力控え、間接照明やスポットライト型照明を用いた、品格ある夜間景観の演出に配慮する。	<input type="checkbox"/> 夜間広告はしない <input type="checkbox"/> 間接照明、スポットライト型照明を使用する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容（	
	・公園や広場などの、パブリックスペースに隣接する敷地の夜間照明は、周辺の安全・安心に配慮するよう努める。	<input type="checkbox"/> 公共の場に隣接する夜間照明はしない <input type="checkbox"/> 周辺の安全・安心に配慮した夜間照明を行う ◇光の強さを抑える ◇照明の向きを工夫する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容（	
	・周辺に近代建築物など、歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合には、それと調和するように配光や色温度に配慮する。	<input type="checkbox"/> 周辺に歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等はない <input type="checkbox"/> 周辺の歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物に調和するよう工夫する ◇光の強さを抑える ◇周辺の色温度に調和させる <input type="checkbox"/> その他配慮した内容（	
その他	ユニバーサルデザインに配慮する。 ※障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考え方です	※必須項目ではありませんが、出来るだけユニバーサルデザインに配慮してください。 具体的な内容：	

景観形成基準適合チェックリスト

【歴史と文化の道地区】「開発行為、土石の採取、土地の開墾、その他の土地の形質の変更」

項目	景観形成基準	申請者ご自身でご記入いただく欄	
		チェック内容 (各欄ごとにいずれか一つの□にレが入らなければ「適合」となりません)	適 否 適
開発行為、その他の土地の採取、土地の開墾、	<p>・行為の範囲内に現存する石垣等については、やむを得ない場合を除き、保全し活用を図ることを基本とする。 ただし、やむを得ない場合においても石垣等の撤去等は必要最小限にとどめるように努める。</p>	<input type="checkbox"/> 石堀・石垣等は現存しない <input type="checkbox"/> 現存する石堀・石垣等の保全・活用を図る ◇現状のまま保全する ◇安全上必要な補修等を行い保全する(具体的な内容: ◇いったん撤去するが、敷地内で(全部、一部)の活用を図る(具体的な内容: <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	<p>・法面は緑化又は石垣等により、周辺の自然環境及びまちなみとの調和に配慮する。</p>	<input type="checkbox"/> 行為地に法面は生じない <input type="checkbox"/> 法面を周辺の自然景観及びまちなみと調和させる ◇ラウンディング及び緑化を行う ◇石積み擁壁による保護工を行う ◇表面に草木などが植栽可能な構造にする ◇前面を緑化により修景する <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	<p>・背景となる斜面緑地については、周辺の植生に配慮して緑化に努める。</p>	<input type="checkbox"/> 行為地は眺望地点及び道路など公共の場から見て背景となる斜面緑地ではない <input type="checkbox"/> 周辺の植生に配慮して緑化する <input type="checkbox"/> 緑化できない場合はその理由(<input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	<p>・擁壁は素材、表面処理の工夫、前面緑化等により、周辺の自然環境及びまちなみ、また、地区内に残る石垣や石堀との調和に配慮する。</p>	<input type="checkbox"/> 擁壁を築造しない <input type="checkbox"/> 素材への配慮(自然石 その他(<input type="checkbox"/> 表面処理の工夫(自然石 緑化 その他(<input type="checkbox"/> 前面を緑化等により修景する <input type="checkbox"/> 石垣や石堀と調和させる(具体的な内容: <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	<p>・敷地内にある良好な樹木、水辺等の自然環境をできる限り保全し、生態系に配慮して活用するように努める。</p>	<input type="checkbox"/> 敷地内に良好な樹木や水辺等の自然資源はない <input type="checkbox"/> 敷地内に良好な樹木がある場合は次のことを行う(同じ場所に残す 近隣に移植) <input type="checkbox"/> やむを得ず保存できないため代わりとなる植栽を行う <input type="checkbox"/> 生態系に配慮した工法とする(具体的な内容: <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(

景観形成基準適合チェックリスト

【歴史と文化の道地区】「屋外での土石等の堆積」「木竹の伐採、植栽」

項目	景観形成基準	申請者ご自身でご記入いただく欄	
		チェック内容	適 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/>
屋外での土石等の堆積	・堆積物は道路など公共の場から見えないように配置を工夫するとともに、できる限り高さを抑える。	【必須】屋外に堆積するもの(①土石 ②廃棄物 ③再生資源 ④材木 ⑤その他) ※②・③・⑤の場合はその名称() <input type="checkbox"/> 道路など公共の場所から見えない位置・高さで堆積させる	
	・そのままでは道路など公共の場から見える場合は、植栽や圧迫感のない塀の設置等による修景を行う。	<input type="checkbox"/> 道路など公共の場所から見える部分は次のことを行う ◇自然環境及びまちなみと調和した低い塀を設置(高さ m 使用する素材・仕上げ) ◇植栽による遮へい ◇高さや向きを揃えて整然と集積・貯蔵 <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
	・整然と集積・貯蔵し、敷地外に流出しないよう安全性にも配慮する。	<input type="checkbox"/> 高さや向きを揃えて整然と集積・貯蔵し、敷地外に流出しないような工夫をしている ◇堆積物の荷重に耐えられる壁等で堆積物を囲む ◇荷重に耐えられない場合は壁等に接しないように堆積させる <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
木竹の伐採、植栽	・道路など公共の場から見える場所の伐採はできる限り避け、やむを得ず伐採した場合は、これに代わる植栽や圧迫感のない塀の設置等による修景に努め、その際は周辺の植生に配慮する。	<input type="checkbox"/> 伐採位置は道路など公共の場所から見えない <input type="checkbox"/> 道路など公共の場所から見える部分は次のことを行う ◇植栽 ◇自然環境及びまちなみと調和した低い塀を設置(高さ m 使用する素材・仕上げ) <input type="checkbox"/> その他配慮した内容(
その他	ユニバーサルデザインに配慮する。 ※障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考え方です	※必須項目ではありませんが、出来るだけユニバーサルデザインに配慮してください。 具体的な内容:	